

資料番号		40-1-1-2	40-1-2-2	40-1-5-2	40-1-8-2
調査年月日		2004/7/12	2004/7/27	2004/7/27	2004/7/27
調査者		生谷吉男	生谷吉男	生谷吉男	生谷吉男
名称		人造絹糸・絹糸布類	絞、板締友禅染標本	絞、板締友禅染標本	絞、板締友禅染標本
糸	素材	絹 軽目一越縮緬	絹 軽目一越縮緬	絹 軽目 壁縮緬	絹 軽目 一越縮緬
	タテ				
	ヌキ				
色	地色	地色 赤 白抜き模様	地色 赤	地色 赤 模様防染部分に黄色の部分で防染糊の下は美しい黄色を呈しており、先に黄色を地染めしてから糸目防染している	濃い赤エンジ地色 白防染の中に手描模様 絞り技法を併用
	染料・顔料				
	タテ				
	ヌキ				
加工技法	織技法	軽目の一越縮緬	軽目の一越縮緬	軽目の壁縮緬 芯糸は太く撚りにより縮緬状に縮んでいる	軽目の一越縮緬
	染技法	手による糊糸目防染、地色はおそらく浸染、引染による。白防染後、糊を剥がし、(手揉みで?)白部分のお広いところに色と墨で模様を描く。繊細な糸目防染が特徴である	板締め防染による浸染	防染により文様を表現 地色は浸染又は引染 経糸が濃く、緯糸が少々淡い。糸目表面のシボの頭が濃くなっているの で引染と思う	糸目防染と絞り染めの併用により文様を表現
	その他		模様の匹田部分には一個ずつの丸に切れ込みがあり匹田内部に染料液が入るようになっている	防染糊が多く残っていて、その糊の表面に染料が多く付いている。裏面に防染糊が浸透していない。手揉みによる糊落としては、黄色浸染——色目糊置——赤地引染	
文様		花柄	花柄	草花柄	花葉柄
形状		裂地	裂地	裂地	裂地
用途		襦袢地	襦袢地	襦袢地	襦袢地
特記事項					糊防染と絞りの絞括を先に施し、その後浸染している。白場部分に後で糸目糊置き、色挿し、または先に糸目糊置き色挿し後地染をしていたかもしれない。白場部分に糊様の付着物が多い。おそらく防染糊が残っているものと考えられる。(手揉みで除去)
調査所見			防染部分は少々黄褐変している	防染部分は少々黄褐変している	防染部分は少々黄褐変している
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦				
	横				
	織耳				
備考					

資料番号		0040-01-019-02	0040-01-020-01	40-1-22-2	0040-01-027-03	40-1-28-3
調査年月日		2004/7/27	2008/9/16	2004/7/27	2004/8/3	2004/8/3
調査者		生谷 吉男	生谷 吉男	生谷吉男	生谷 吉男	生谷吉男
名称		絞、板締及友禅染帖	絞、板締及友禅染帖	絞、板締友禅染標本	絞、板締及友禅染帖	絞、板締友禅染見本
糸	素材	絹 軽目 一越縮緬	絹	絹 軽目 一越縮緬	絹	絹
	タテヌキ				絹 無撚	絹 無撚
					絹 強撚	絹 強撚
色	地色	赤、青		赤 地色	ダークグリーン(中色)茶、ブルーの小紋	ダークグリーン色(中色). 茶、ブルーの小紋
	染料・顔料		赤色		顔料	
	タテヌキ					
加工技法	織技法	軽目の一越縮緬	軽目縮緬	裂地	一越縮緬	一越縮緬
	染技法	非常に小さい匹田の絞り目を並べている	匹田絞りを使った模様、赤浸染	長方形の大小各種の大きさで糸入れしてから絞括している	地染めしてから2色の小紋柄を顔料捺染	地染めしてから2色の小紋柄を顔料捺染
	その他	赤と青との染め分け線に沿って生地針の目が残っている糸で縫って括り、桶又は竹の皮で防染して浸染している			型紙は織細に作られているが型置きで色糊の太細が出ている。色部分に多くの色糊が残っていることから顔料捺染と推定される。	
文様		匹田にて花柄を表現 絞りにて地色赤と青を染め分ける	匹田模様	大小各種の絞り模様の長方形が整列している	松柄、小紋	松柄、小紋
形状		裂地	裂地標本	裂地	裂地	裂地
用途		服地又は襦袢地	襦袢、	襦袢地	服地	服地
特記事項				長方形に縫って締め、それに糸をぐるぐると巻き付けてある。巻いた糸の線が染め出されている		型紙は織細に作られているが型置きで色糊の太細が出ている。色部分に多くの色糊が残っていることから顔料捺染と推定される。
調査所見				防染部分は少々黄褐変している		
製作地						
製作年						
織名称						
法量	縦		300			
	横		280			
	織耳					
備考		防染部分は少々黄褐変している				

資料番号		40-1-29-2	40-1-33-1	40-1-36-4
調査年月日		2004/8/3	2004/8/3	2004/7/27
調査者		生谷吉男	生谷吉男	生谷吉男
名称		絞、板締友禅染見本	絞、板締友禅染見本	絞、板締友禅染標本
糸	素材	絹	絹	絹 軽目一越縮緬
	タテヌキ	絹 無撚	絹 無撚	
	ヌキ	絹 強撚	絹 強撚	
色	地色	紺地色	地色は淡グレー、模様は淡ブルー、茶色	地色 白、赤
	染料・顔料			
	タテヌキ			
	ヌキ			
加工技法	織技法	一越縮緬	一越縮緬	軽目の一越縮緬
	染技法	白点による波形捺染(白防染)ー淡いグレー染め、手描による草模様の防染 地色は藍色の引染	糊防染の型置き、色分けしての色挿し 糊防染と色挿し	生地を畳んで板締め防染による浸染 赤色大型柄
	その他			
文様		草花と波形(白点状で表現)	平化、雪和朗など横段状に5センチ幅での繰り返し	幾何柄
形状		裂地	裂地	裂地
用途			服地	襦袢地
特記事項				
調査所見				防染部分は少々黄褐変している
製作地				
製作年				
織名称				
法量	縦			
	横			
	織耳			
備考				